

「研修会等名称」

「演劇手法」を用いた新卒大学生向けグループ就職支援プログラム
(特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会 主催)

場所：東京

期間：2011年9月11日（日）

1. 研修の内容

この研修の目的は、学生の就職支援に必要なコミュニケーション能力の向上を支援するために、演劇手法を用いた能力開発支援を学ぶことである。

研修は、「ゆとり世代」と呼ばれる昨今の学生たちが育ってきた歴史的背景や教育的背景を理解することから始まる。歴史的背景では生まれた時から成熟化社会で育った学生と高度経済成長やバブル経済を経験した社会人との間には、当然のことながら価値観や考え方に齟齬があること。教育的背景では総合学習などの時間が増える一方、読み・書き・そろばんと言われた基礎学力の低下が目立つと指摘された。このような状況を考慮した上で、以下のような課題や支援方法について、情報交換や議論、ワークショップを行った。

(1) 企業が求める人材像について

⇒企業が求める人材像はコミュニケーション能力の高い人材。

⇒英語や中国語のような外国語が話せるだけでは十分ではない。

⇒互いの価値観を理解し、共通の利益を求めることができる人材。

(2) 「ゆとり世代」に欠けているスキルについて

就職活動では社会におけるルールが変わる。すなわち、消費者マインドから供給者マインドへのリセットが必要となることを伝える。そして、マインドが変わることで能動的な活動が要求される。つまり、自らが積極的に他者への働きかけを行う必要があり、そのために高いコミュニケーションスキルが必要とされる。

(3) 「ゆとり世代」の欠けているものを身に付けさせる有効な支援方法について

学校等で様々な取組がなされているが、最も重要な支援方法は「体験」させることである。インターンシップなど自ら体験することで考え方や行動に変化が見受けられる学生も多い。講義の中で「疑似体験」をさせることで、価値観の齟齬や視点の多様化を気づかせることが有効である。

(4) ワークショップの意義と導入方法について

ワークショップではレクチャー型の講義とは違い、自分自身が疑似体験することで学生の気づきを支援する。また、ワークショップを導入することで他人との共同作業を通じて、コミュニケーション能力の基礎を構築できるようになる。学生生活の側面からも、他の学生とコミュニケーションをとることで、学内での孤立を避ける機会を提供することにもなる。

(5) 体験したことをまとめること、振り返ることの重要性について

演劇創作を体験する過程で、様々な価値観や発想と向き合うことになり、それをまとめるためにコミュニケーション能力が求められる。演劇創作という疑似体験を通じて、他者との交流や対立、自己の認識などを振り返り、まとめることで自己理解を深める。

2. 研修の成果

今回の研修によって、以下の3点を確認することができた。

(1) 価値観の齟齬や多様性は必然であるという認識。

「ゆとり世代」などそれぞれの世代には代表的な特徴があると指摘されているが、それはある世代を中心にした視点であり、逆の視点では価値観が全く異なることが起こるといふ当たり前のことが理解されていない。価値観が異なるということは、その価値観を理解し、共有することが求められる。

(2) 価値観を理解し、共有するためのコミュニケーション能力の向上。

価値観が異なることを前提にすれば、その価値観を理解・共有することが重要になる。特に、職場など組織で活動する場合は注意が必要である。そこで重要な役割を果たすのがコミュニケーションという手段であり、このスキルを身に付けることが相互理解の第一段階である。

(3) 「体験」することの大切さとその機会の提供。

理論や理屈で価値観の齟齬や多様性を理解することだけではなく、「体験」を通じて自らが気づくことの重要性を学んだ。そして、その「体験」をする機会を提供することが教育的にも重要であり、「体験」から学び、気づき、振り返ることを通じて、自己理解や他者理解が促進される。

3. 授業への研修成果の反映状況

授業への研修成果の反映状況について、以下の2点の導入を行っている。

(1) レクチャー型講義からワークショップ型講義の展開

レクチャー型の講義だけではなく、ワークショップ型の講義を展開している。ワークショップを通じて、「体験」することから学生の講義への関心、参加姿勢の向上を図っている。

(2) 講義資料の見直し

一方的な資料の提示を行うのではなく、講義を通じて、学生自身が考え、資料を作成できるように改善に努めている。与えられた資料だけで理解するのではなく、資料を自分自身で工夫することで、学生の理解度が向上することを目指している。

学部長	FD委員長	FD委員会	企画・広報課長	係